No. 259　　2014年12月●December

「de mano（で まぁの）」は、牛豚肉を加工する「まぁの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まぁの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。
「mano」はエスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」をつなぐ肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

# まぁの から de mano

エスペラント語で「mano」は「手」、「de」は「～から」という前置詞です。

【火曜定休】

●発行　まぁの
尼崎市戸ノ内町5-8-6
●TEL　06-6495-2546
●FAX　06-6495-2900
●E-mail
mano0298@snow.plala.or.jp

## クラフトまつりで大鹿牛丼を売る

**紺野　香糸（青木清さんの娘さん）**

10/25,26 に第１回大鹿クラフトまつりが、村内の大西公園で開催されました。スタッフは地域おこし協力隊３年目で木工館館長の竹岡さんを中心とした、村在住２０代～40 代の約２５名で、「物づくり音づくり」と題しクラフトと音楽を融合させた、大鹿では今までにないイベントです。クラフトという聞き慣れないカタカナの祭りに、どう村の人が絡み、来てもらうかが何よりの課題でした。村の人には手作りクラフト以外にも野菜を出店してもらったり、馴染みのある大鹿太鼓などの演目も入れたりと参加型を目指しました。また全国からクラフト出展を募り、大鹿出身や長野県を代表するアーティストに音楽で盛り上げてもらいました。課題は残るものの、１回目なりに形にはなったと安堵しています。

このクラフトまつりで我がバウ牧場の経産和牛を使った「大鹿産和牛丼」を販売しました。１つ500 円の牛丼は、美味しいからもっと値段が高くてもいいんじゃないかという高評価もあれば、肉がもっと欲しかった、玉葱が多かったといった感想がありました。そこで世間を知るためにチェーン店の牛丼を買ってみたところ、確かに肉がたくさん入っていて、玉葱は数えたらなんと５切れ!?　味は言うまでもなく格段に経産和牛が美味しいのですが、一般的な牛丼のイメージはチェーン店のそれかと思うと、後者の意見もそんなものかと納得です。

11 月の村の産業文化祭では、今回牛丼を逃した方が何人も楽しみにしてくれています。バウ牧場のお肉を地元の人に食べてもらうのは貴重な機会です。石の上にも３年、牛丼もクラフトまつりもさらに地域に浸透させていければと思っています。

## “あんふぇす”に行って来ました

**11 月 9 日**

前からご案内してきた「食の安全フェスタ」（あんふぇす）に参加しました。あいにくの雨で出足がそがれたかもしれませんが、JR と阪急に挟まれた富田の駅前の４ヶ所で、青空市や講演、ライブなどの企画が進められました。基本のコンセプトは「フクシマ以降の放射能汚染（とりわけ子どもの内部被曝）から身を守ろう」というものです。

私は連続して開かれたプレゼンテーションで、いろいろな人のお話を聞かせてもらいました。それぞれ重たいテーマでとても紹介しきれませんが、まず福島から避難してきて、国や東電の余りに理不尽な態度に裁判を起こされた森松さん、原発賠償関西訴訟の原告団代表を勤められています。避難した人、残っている人、同じ被害者なのに足を引っ張ってしまっていることもある…当事者の言葉は何より説得力があります。もっと多くの人に聞いて欲しい。この会場は１０人足らずでした。ただ驚いたのは、直前にお誘いした草の会の上杉さんと黒岩さんが来て下さっていたこと。いくつになっても社会的関心を失わないお二人には頭が下がります。

続いて、高槻・市民放射能測定所の時枝さん。私は次に紹介する阪神の測定所の会員になっていますが、高槻でも阪神とほぼ同じ時期に立ち上げられ、割安な価格で一般の人の測定を引き受けています。時枝さんの話では「日本全体を希釈して、汚染まみれにしていくのが政府の方針なのだ」という言葉が納得でした。他にも重たいテーマの話をお聞きしたのですが、別の機会にします。

## 放射能を測ってみませんか

まぁのの牛肉を測定してもらっている所から案内をいただきました。あなたもいかがですか。

### 阪神・市民放射能測定所

阪神市民放射能測定所は、「放射能汚染から子どもたちを守ろう」と2013年5月に西宮市内に開設しました。まぁの様からも定期的な測定を頂いており、これまでに食材を中心に1000件を超える測定を行ってきました。

測定結果から、数ベクレル／kg程度の汚染食材が関西にも流通しているという事実が見えてきました。

自治体や企業も自主測定していますが、検出下限値が高いものが多く、汚染された食材が不検出として流通していることが危惧されます。

当測定所は、検出下限値にかかわりなく、汚染されている気配があれば測定器の限界まで測定し、数値を明らかにしています。

市民の皆様には毎日食されるお米や味噌等の定期的な測定をお薦めしています。ぜひ一度ブログをご覧いただき、連絡頂けると嬉しいです。

測定料金

年会費4000円　1年間　月1検体無料（計12検体）

追加1検体　2000円

阪神・市民放射能測定所
代表　安東克明
090-3828-9579
〒662-0916 西宮市戸田町5－21
TEL／FAX：0798－34－2315
メール：shs.hanshin@gmail.com
ブログ：http://hanshinshs.blog.fc2.com

## 山の記録

### 烏帽子岳　三国岳　　10月24日

最近は行く途中にちょっとした食べ物を買うことが多いのですが、関が原ICからのR365にほとんど店がなく、昼までに下りて来るしまぁいいやと、お茶だけ持って手ぶらで登ったのが悲惨な結果を招きました。

細野登山口は最近整備されて、国道からの表示もわかりやすく、広い駐車場にトイレと東屋まで設置されています。車を置かせてもらい8時15分スタート。登山道もよく整備されて、表示もしっかりしています。見晴らしポイントの4箇所も案内され、南には御池岳、鈴ヶ岳、北には霊仙山、伊吹山が間近に見えます。9時20分、烏帽子岳頂上。これから三国岳に向かいます。ここからはまったく整備されていないので表示はなくなります。黒いゴムの階段が、かなりつぶれてはいますが切れ切れに続いているので道の目安になります。10時前、№10の鉄塔。ここから道はさらに難しくなります。踏み跡は薄く、赤テープだけが頼りです。石楠花、イワカガミなど、その季節にはきれいでしょう。10時50分、何とか迷わず三国岳頂上へ(→)。眺望はありません。時山への下り道を探しますが、わかりません。いくつかのブログにも、「時山下山ルートはやめといたほうがいい」などと書かれていました。あきらめて元来た道を戻ろうとしますが、それがわからなくなり、別の道に迷い込んでしまいました。かなり下りてみましたがどうも先はなさそうです。仕方なくまた登り返して三国岳に11時42分に戻ってきました。どこで迷ったのか道をじっくり見ると、頂上から少し下ったところに赤テープを3箇所つけてある木を発見！　ここで曲がらないといけないのでした。登りの時は全く気づいていませんでした。上りと下りで雰囲気が違うことはよくあります。後は赤テープを必死で探して、何とか1時20分に烏帽子岳まで戻ってきました。ちょうど登ってきた人があり、写真を撮ってもらいました(→)。下りはさすがに足にきて、それでも攣りもせず、2時12分に車に戻りました。メシ抜きで6時間歩きっぱなしで、くたくたです。

## ニ　ク　ヤ　ノ　ツ　ブ　ヤ　キ

◇　パン屋、酒屋、散髪屋、眼鏡屋、電器屋、自転車屋…はい、これは何の並びでしょう？…私が日頃お世話になっている近所の個人商店です。　（幸治）

◇　作業台におでこをゴツン、それがことのほか痛くて、不意に　噴石が降ってきたときの御嶽山の登山者の方たちに思いを馳せました。無念はいかばかりか…。　（幸子）